

第5回幼稚園再編に係る地域協議会(なばた幼稚園) 会議録

日 時:令和3年8月6日(金)10時から

場 所:なばた幼稚園リズム室

参加者:森本座長、川上委員、長谷川委員、富名腰委員、森委員、今谷委員、桐生委員、鈴木委員、城山委員、福井委員、井上委員、井村委員、中森委員、坂谷委員

事務局:原井教育長、奥田部長、松田課長、松本指導主事、福山課長補佐、生水(会議録作成者)

傍聴者:6名

<開会>

事務局 本日の会議に入る前に、事務局に届いている意見を紹介する。まず学童指導員からの意見。学童は色々な保育園出身の児童が多く、夕方5時以降に延長保育のお迎えの方が40名ほどいる。保護者の送迎の状況を見たり、保護者と話をしたりして感じるのは、学校の近くにこども園などがあれば、送迎や行事等で移動の負担が少なくなると思うとのこと。

次に、地域住民よりなばた幼稚園のこども園化に賛成という立場でのご意見をいただいた。主な意見を紹介する。市政に対して、住みやすいまちとしての発展と人口増に力を入れ、地域にある保育所、幼稚園、こども園、学校を守っていく立場で市政を進めてほしい。施設の望ましい配置や運営体制について、基本的な考え方には、大規模施設の問題はほぼ触れられていない。大規模というだけで、職員間の話し合い、意思の共有、当日の運営はもちろん、そこに至るまでの職員の労力は大変なものである。定員が増え、クラス数が増えれば職員数も多くなり、丁寧な運営は難しくなる。

小規模施設の大きな可能性について、3点挙げておられた。1点目は、子どもにとっては、お互いよく見えよく知りあう中で、友達という安心感が生まれること。同時に違いも分かって、自己主張してぶつかる中で相手理解が深まり、友達が好きと思う大切な心が育まれていくという可能性。2点目は、職員にとって小規模のため、どのクラスの子どもに対しても全職員で見守ることができる。個々に応じた援助も可能になり、こども理解が深められるという可能性。3点目は、保護者にとっては、小規模園のアットホームな日常や一人一人にしっかり目を向けた保育がいろいろな場面で伝わり、安心や信頼につながる可能性があるとのこと。そして、小規模園のデメリットにも触れられ、職員の人数が少ないため大きな行事や取組になると職員の負担が大きくなるということがあるが、逆に保護者や地域

の力を発揮してもらいお互いの交流が深まれば、子どもたちを守り地域が元気になることに繋がる大きなメリットになると、まとめておられた。現在は、意見書をまとめていただいている状況ではあるが、事務局に意見が届けられたので紹介させていただいた。ここからの進行は座長に願います。

座長挨拶

次第 幼稚園再編・こども園化についての意見書について

委員説明(別紙資料)

座長 意見書作成にあたり、壱分幼稚園との比較ではなく、なばた幼稚園の独自性と、保護者の意見を重視して作成していただいた。

委員 多くの保護者や、前々回に育友会長からも意見があったが、近年は想定を越える災害が発生しているので、土砂災害警戒区域についての意見を3ページの③に入れてもらった。必要な対策工事などは期待できないということで、想定を超えることはないだろうという生駒市の姿勢には失望している。原案に対する課題が解決できないのであれば、なばた側で統合するという案を記載できないのだろうか。

委員 土砂災害警戒区域の意見については、重要な意見だと思ったので「2、協議会としての意見」の(1)に持ってきた。「3、再編を検討するにあたり、懸念される課題と必要な対応」については、統合について真っ向から反対の立場なので、資料1として添付するだけに留めようかとも考えたし、当初は載せるつもりすらなかった。ただ、意見書の内容を追加修正したこともあり、載せても良いかなと思っている。また後で諮りたいが、受け取る側の印象も考えてこのような意見書案にした。ただ、園の廃園を認めることになりかねないので、「⑥その他」については削除してはどうかと考えている。

座長 「3、再編を検討するにあたり、懸念される課題と必要な対応」について、地域協議会の大きな目的のひとつが原案に対する課題の発掘と解決策の検討だったので、これは残すべきだと思う。地域の住民に意見を聞いているので、それを反映させる必要もあるのではないだろうか。皆さまの意見はどうか。

委員 私は資料という形で添付しても良いと思う。今回の協議会で意見書が完成すると仮定すれば、8月末か9月には意見書が提出され、統廃合についての決定がされると聞いた。そして、それ以外に地域の意見を聞く場は無いとのことだった。ほと

んどの保護者の意見が反対であり、自分はその代表としてここに来ているが、課題への対応をすれば統合しても良いと思われるのは委員の立場としては嫌である。

委員 全員で意思表示をしておきたい。例えば4ページ①について、規定どおり1号認定児の車通園はできないと言われれば、地域の交流はできない。年に何回かしか顔を合わさないとすると、菜畑の子どもはバスで降りて帰るだけ。この問題に対応できて、バス代も無料になるのであればまだしも、それができないということであればとても気の毒である。壱分幼稚園周辺の土地を用意して対応してほしいということになる。つまり、対応策が有効であれば記載しても良いが、課題への対応がなされないということであれば無くしてもいいのではないか。

事務局 なばた幼稚園の地域協議会の事務局としてお伝えする。原案は決定事項ではないということは当初から何度も申し上げている。この皆さんから出た意見書を真摯に受け止めることが事務局の使命・役割だと思っている。そこで、仮に原案通りに決定となってしまった時だが、資料でなくて意見書の中に記載しておいた方が、この後の懇話会で詳細を決めていく際に意見としての重みが出る。これは地域協議会事務局としての意見である。

委員 決定までのスケジュールや懇話会について教えていただきたい。

事務局 今後のスケジュールは決まっていない。他の協議会でも意見書が出てきているので、今月末の教育委員会で説明したいと思っている。その後、原案通りで決定になれば懇話会ということになるが、仮になばた幼稚園をこども園にすると決まったときに、懇話会が立ち上がるのか、教育委員会で決めていくのかはわからない。懇話会が立ち上がれば、学識経験者や幼稚園長、地域住民などで構成され、話し合いを進めていくということになる。

委員 今後、誰が方針を決めるのかがわからない。意見としては原案に反対。再編については具体性が無く、心配事ばかり保護者に抱かせている。よって、再編については賛成できないという文言で意見書を打ち切っても良いのではないかと思う。

委員 同じく私も原案には反対なので、省いたほうがすっきりすると思う。もし原案通りということになれば、別の機会で見れば良いと思う。

座長 懸念される課題についての解決策について、これまで話し合ってきた。その意見を載せて、教育委員会に判断していただいても良いのではないだろうか。

委員 我々はなばた幼稚園の廃園について疑問があり議論してきた。そもそも再編には反対なのだから、再編された場合のことを書くのはギャップがある。中身は同じでも、表現を変えて資料にしてはどうだろうか。再編を検討するためではなく、再編をしないための理由付けの資料にするということ。

委員 色々な意見があると思うが、どの時点で決定がされるのか。教育にお金の問題を持ち出してはいけなくて何度も申し上げている。お金の問題があるのであれば、予算の枠組みを別の場所で考えたら良い。我々は統合に反対である。今後懇話会が立ち上がったとして、それは公開されるのか。

事務局 スケジュールについて再度説明する。本日意見書がまとまると、座長より教育委員会に意見書が提出される。それを直近の教育委員会で検討する。その検討内容について、市の総合教育会議で市長と教育委員が集まって内容を審議する。その審議内容をもって、教育委員会が最終的に決定する。その後、懇話会を設置もしくは内容によっては設置しないということになる。また、予算や財政についてだが、これについても意見書に記載して良いと思う。市の財政に左右されず、教育に対して予算をつけて欲しいということは、事務局の希望でもある。

委員 言っていることは理解できるが、ここに載せると決定ありきに思えて仕方がない。

座長 「3、再編を検討するにあたり、懸念される課題と必要な対応」について、意見書の資料としてはどうだろうか。

委員 中身はこのままで、資料として別にしたいと前回は提案している。他の委員の意見も聞いていただきたい。

委員 話が複雑になりすぎている。骨格が見えてこない。枝葉は切って重要なことが見えるようにしなくてはならない。今後のスケジュールも明確にしなくてはならないと思う。

委員 私たちからすると急に出てきた問題。絶対に反対という意見を届けていただきたい。その後で、必要な対応について訴えさせていただいたらと思う。保護者同士の交流は重要であり、皆が統合については反対と思っている。なばた地区では虐待などの話も全く聞かない。保護者に寄り添った保育ができているということ。

委員 これだけの反対意見が記載されているにも関わらず、それらを見做す決定となったときに、「3、再編を検討するにあたり、懸念される課題と必要な対応」だけが反映されるとは思えない。無くしてもいいのではないか。

委員 これまで協議してきたことなので、タイトルなどを変更して残してもいいのかなとは思ふ。

委員 幼稚園が廃園になるという話は全然知らなかった、どのような形でこうなったのか、なぜイエローゾーンのほうに行かねばならないのか、送迎等で保護者の負担が増加するのになぜ壱分幼稚園に統合するのか、わからないことだらけ。この場所でもこども園化してもらったらありがたいが、どういう形で幼稚園の統廃合という話が出てきたのかが自分の中でもネックになっている。

委員 「3、再編を検討するにあたり、懸念される課題と必要な対応」については結果が出てから書くことだと思う。なばた幼稚園廃園の噂は4年前くらいから聞いているが、なばた幼稚園は私立に負けないくらい立派だと思う。とにかく、なばた幼稚園をどうしても残してほしい。菜畑には新しい家が建っているのでも若い家庭も住むと思う。大阪のベットタウンでもあるので、それにふさわしい生駒であってほしい。生駒は「地域で子どもを育てる」がキャッチフレーズ。そこを考えてほしい。あと、次年度もきっちりと園児募集をしてほしい。

委員 意見書の「1、協議事項」の部分で、協議会は再編案を検討するにあたり懸念される課題と解決策を検討すると記載されているので、体裁として「3、再編を検討するにあたり、懸念される課題と必要な対応」は必要なのではないだろうか。中身というより体裁についてだが。

委員 意見書の2ページ(1)②についてだが、幼稚園の場合は3歳児以上であれば希望があれば通園バスを利用できる。

事務局 0～2歳児に訂正する。

委員 協議会は今日で終わりなのか。事務局としてどう考えているか。

事務局 委員が意見書案を考えてくれたこともあり、今回は最後のつもりではあった。

座長 内容としてはこれでよろしいか。構成について「3、再編を検討するにあたり、懸念される課題と必要な対応」をどうするか。残すのか、資料にするのか、省いてしまうかだと思うが。

委員 省いてしまおうという意見が多いが、それならこれまでの話し合いはなんだったのかということになるので、私は資料として残してはどうかと思う。そうでないと事務局の面子もつぶれてしまうだろう。資料形式にしたり、文言を変えたりしてでも、残したほうが心象的にも良いのではないだろうか。なばたの協議会と俵口の協議会は反対だと思う。これは軍配を出してから全体に意見を求めるやり方であり、進め方が良くなかったと考える。これは作為的だったのではないかと疑問に思っている。ただ、相手にされなくなってしまうてはどうしようもないので、不本意だが資料を添付したらどうかと思っている。ただ、次の懇話会の委員には組織のピラミッドの中の人ではなくて、上からの圧力の無い人を選んでいただきたい。あと、⑥その他の部分を削除するかについても意見をいただきたい。

座長 大きな反対がなければ資料という形で載せてはどうかと思う。あと5ページ⑥その他についてはどうすべきか。

委員 これについては民間が手を挙げてくれなければどうしようもないのではないかな。

委員 なばた幼稚園が廃園となっても、東小学校の区域に幼稚園がほしいということで、幼稚園の保護者からこの意見が出ていた。

委員 そのような理由であれば残しても良いだろう。

委員 幼稚園としてということであれば、人数が減っていくのでこども園が必要だと思う。あと送迎について、今の学童の送迎も近隣は快く思っていない。実現は難しいと考えるが、意見としては出して良いと思う。

座長 内容についてはこれで良いと思う。構成について座長預かりにさせていただいて、事務局と相談しながら作成させていただいてよろしいか。

委員 意見書提出後のことだが、教育委員会の審議内容等についての通知は来るのか。実際に通っている園児の保護者に通知がないので、現在の状況についての質

問が来ている。今後について気にしている保護者が多いので、現在の進捗についてお示しいただければと思う。

事務局 ホームページでのお知らせだけでは不十分だと考えるので、園長とも相談して周知方法を考える。今まで地域、自治会の方々に意見をいただいたが、市から進捗等の通知はできない。ただ、地域協議会から通知を出すことはできるので、部数等教えていただければコピーなどするので、ご連絡いただきたい。

座長 これまで協議会にご協力いただいたことに、感謝申し上げます。

事務局 本日が最後になるので、教育長よりご挨拶申し上げます。

教育長挨拶

<閉会>